

ちがさき消防防災フェスティバル2016の実施結果

- 1 実施日時 平成28年10月23日（日）10:00～15:00
- 2 実施場所 TOTO株式会社茅ヶ崎工場
- 3 来場者数 約6,500人（消防防災フェスティバル及び工場リモデルフェア）
- 4 参加団体等 29ブース（防災関係機関等：20、茅ヶ崎市：16）
- 5 アンケート結果（消防防災体験ラリー参加者にアンケートを実施（回答830件））
 - 回答者の93.5%が40代以下（前回90%）
 - 防災訓練等への参加経験のない方が57.6%（前回59%）
 - 防災関係機関の災害時の活動を理解できた方の割合90.4%（前回89%・）
 - 自宅から近い避難所がどこか知っている方の割合82.0%（前回79.5%）
 - 一週間以上の備蓄をしている方が4.8%。（前回8.4%）

■主な自由意見

- ・いろいろなことを体験できて楽しかった。また行きたいです。（～9才）
- ・色々な体験ができて楽しく勉強になりました。（10代）
- ・体験を通して災害について準備をしなければと思いました。子供も大人も楽しんで体験できました。（40代）
- ・子どもが大喜びでした。自身もAEDなどの体験し、とても勉強になりました。いつか活かせたらと思います。（40代）

6 アンケートからの課題

市民に対し、7日間分の備蓄を勧める中で、アンケートによる1週間以上の備蓄をしている方の割合が4.8%と前回よりも低くなり、他の項目の割合が上がっている。

7 今後の方向性

来年度も、防災関係機関や市内各課かいの参加を促し、継続して開催するとともに、展示と体験を通じ、より多くの来場者に消防防災意識の周知・啓発を図る。備蓄はサバイバルクッキングの委託ブース等で自己備蓄の重要性をより周知する必要がある。

8 当日の様子



各ブースの様子



自衛隊車両の乗車体験



建設重機の乗車体験



工場リモデルフェアと同時開催



サバイバルクッキング実演



水道管応急復旧訓練